

2022年4月26日

報道関係各位

一般社団法人日本化学工業協会

2050年カーボンニュートラル実現に向けた化学産業における投資額を推計

今般、一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：森川宏平（昭和電気（株）代表取締役会長）、以下「日化協」）は、2050年カーボンニュートラル実現のための化学産業における投資額について、以下2つの推計方法を使い、7.4～9.7兆円と算出しました。

1. 日化協が設定した転換シナリオに基づく推計投資額：7.4兆円

<推計方法>

以下の転換シナリオを設定し、会員企業から得たモデルプラントでの概算投資額情報を基に推計。

- ① 基礎化学品製造の半分程度程度の原料を化石資源からCO₂や廃プラスチックに転換
- ② ナフサクラッカーの燃料の全量をアンモニアに転換
- ③ 石炭等を主燃料とする火力自家発電設備等の燃料の全量をバイオマス・LNGに転換

2. 会員企業において考える投資内容に基づく推計投資額：9.7兆円

<推計方法>

上記1の前提条件に限定されず、会員企業各社において考えるカーボンニュートラル実現のための設備投資額、研究開発費等をアンケート調査し、日本の化学産業全体のカーボンニュートラル実現に必要な投資額を推計。

いずれの金額も、カーボンニュートラル実現に関わる設備新設の投資額（原料転換・ナフサクラッカー燃料転換・自家発電設備等の燃料転換への設備投資）に加えて、原料転換・燃料転換等に関わる研究開発費、省エネ促進に関わる投資・費用を含みます。

日化協は、2021年5月に策定した「カーボンニュートラルへの化学産業としてのスタンス」において掲げた、生産活動におけるGHG（温室効果ガス）排出削減のイノベーションとその社会実装を推進しています。今回算出した必要投資額に基づき、政府に対して支援を要請してまいります。

以上

【参考】

カーボンニュートラルへの化学産業としてのスタンス：

<https://www.nikkakyo.org/system/files/20210518CN.pdf>